

神経内科、脳卒中センターを受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	筋萎縮性側索硬化症 (ALS) 新規治療基軸エダラボンの実臨床における検証
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 道勇 学
担当科等	神経内科、脳卒中センター
研究責任者	神経内科 助教 湯浅 知子
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	非該当
研究の意義・目的	エダラボンの、ALS の病状進行に対する効果を検証することを目的とします。
対象となる患者さん	厚労省承認後にエダラボンを導入し、予後追跡が可能な ALS の患者さん
研究の方法	ALSFRS-R (ALS functional rating scale revised version) とは ALS の患者さんの病期を適切にとらえるための指標として、米国で作成された評価尺度です。ALSFRS-R では ALS の症状が、言語や嚥下、身の回りの動作、歩行、呼吸などの項目に分けられ合計 48 点満点で評価されます。今回の研究では、ALS 患者さんの症状について、エダラボンを導入する前の 6 ヶ月間ではどれくらい ALSFRS-R の点数に変化があったのかと、エダラボンを導入した後の 6 ヶ月間ではどれくらい ALSFRS-R の点数に変化があったのかを比較・検討することにより、エダラボンの ALS の症状進行に対する効果を検証します。研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される方は、下記問い合わせ先までご連絡お願い申し上げます。
研究期間	倫理審査承認日 ～ 2025 年 3 月 31 日
研究に用いる試料・情報	情報：診療情報等
外部への試料・情報の提供	なし
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、下記問い合わせ先まで申し出てください。
その他	
問い合わせ先	愛知医科大学病院 神経内科 担当者：助教 湯浅知子 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又 1 番地 1 電話 0561-62-3311 (内線 23510)